



くぬぎだより

第3号

平成26年2月発行

くぬぎの木

特別養護老人ホーム



くぬぎの木に引っ越して来られてから3か月が過ぎました。部屋でのんびりと過ごすのが日課となっていました。最近では、車イスをこぎユニットの廊下を散歩されたり、デイサービスに通う友人と行き来したりするようになり、いろいろな楽しみが増えました。

陽射しの暖かい日、「洗濯物を干すのを手伝って下さいますか？」とお願いすると「ようするやろか…」と言いながらも、からまったハンガーを丁寧にはずし手渡して下さいました。「たくさんの洗濯物、大変ですなあ〜」、「家族が多いとこんなもんやね」と話をしながら洗濯物を干していると、その話し声を聞いていた周りのご入居者から「ようけ、ありがとな」と声を掛けてもらい、和やかなひと時となりました。

くぬぎの木では、その方らしい暮らしを継続できるように、今までの暮らしぶりや好み、こだわりなどをご本人やご家族に伺います。特別なことをするのではなく、日常の些細な時間を大切にする事で、これまでと変わりなく過ごして頂けるよう心掛けています。

そして、私たちが暮らしのお手伝いをするだけでなく、人生の大先輩のみなさんに様々なことを教えて頂きながら、ご入居者と助け合い、『家族』としてくぬぎの木で共に過ごしていきたいと思っています。

また、ご家族、ご友人の皆様が気兼ねなく来て頂けるような雰囲気作りに努めたいと思います。

久しぶりの…

モーニングへ！

入居される前は毎日のモーニングが習慣だったそうです。初対面の隣の席のおばさんとお話して、新しい一面を垣間見ることができました。



「おっきい柿やな〜」

「おっきな柿やな〜」と皆さんが手際よく剥いて下さり、吊りました。この通信が発行される頃には、美味しい干し柿ができています♪

プレゼント

昔からの友達がデイサービスを利用する日に来てくれます。「先週約束したやつね」と折り鶴で作った花を持ってきてくれました。変わらない関係、素敵ですね。



初詣へ

初詣へ出かけたい方を募り、縣神社まで♪砂利道を進み、手を清め…皆さんと手を合わせます。今年もみなさんにとって良い年になりますように。



暮らしの1ページ



山盛りの洗濯物を・・・

朝ごはんの後、洗濯物の山を見て、「あれ、たたむやつ？」と。部屋までメガネを取りに戻り、あっという間に山盛りの洗濯物をたたんでくださいました。



お幾らですか？

ブラリと散歩しつつお買い物。きんつばとチョコレートを持ってレジへ。「お幾らでしたかな」と財布からお金を出しお支払しました。



居酒屋OPEN！

おでんのメニューを真剣な表情で書いてくれました。長年、書道をされていたそうで、とても味のある字で書きあげりました。



「かるたしよかー！！」

「昔はよう、かるたやったな〜」と話しているご入居者を筆頭にかるた取りをしました。立ち上がって絵札を探す方、普段はあまり伸びない手が、グーンと伸びる方。お正月を味わいました♪



とある夜のとある晩酌

「そろそろこれやるかっ！」と晩酌の合図！部屋にある机に毛布を掛けて、こたつ風に…。今晚は女性のご入居者も一緒に晩酌をしました。「私、歌いませよか〜」となんだか良い雰囲気でした！



昼食の買い出し

どの具にしようかと悩み、聞くと「こっちの方がいいわ」と決めて下さいました。さすがベテラン主婦♪皆で楽しくおでんを食べることができました。



暮らしの彩りプラン

いろど

入居前から毎日、散歩がてらコーヒーを買いに行っていたご入居者。飲み物の話をすると「私、コーヒー大好き！」というお言葉。誕生日を間近に控え、大好きなコーヒーを娘さんのみえる喫茶店でいただくよう提案させて頂きました。



当日には、「そんなええこと！」と嬉しそうに。ですが、出発直前には「今日どうしても行かないませんか？」と気が乗らず部屋に戻られました。しばらくして部屋を訪ねると、ご自分から服を着替えたり、「お財布もってかならんね？」という声も聞かれ、思い切って出掛けることに。喫茶店へ着いても、うつむきがちで、ひたすらマイカップでコーヒーを飲んでみえました。

そこへお孫さんやひ孫さんが来られると笑顔に！とても嬉しそうな表情になりました。お孫さん手作りのリンゴケーキを囲みながらひと時を過ごし、近所の男の子も入ってきてくれ、総勢10名ほどが集まってくださいました。行きつけの美容院を教えていただいたり、1番小さなひ孫さんに「〇〇おばあちゃん」と呼んでもらったり・・・。



にぎやかな中、走り回っているひ孫さんの様子を見て嬉しそうな表情が。ご家族と一緒に98歳の誕生日を祝いました。喫茶店の近くにはご自宅があるとのことで、到着すると、「ここが我が家です」と紹介してくださいました。ニッコリ笑顔もみられ、「あ～よかった！！」というお言葉まで。帰りは、なじみの街をグルッとまわり、「あ～懐かしい。私がここへお嫁に来たときには、田んぼばかりだったの」とお話ししてくださいました。



ご家族の皆様、計画を快く受けて下さり、お忙しい中、当日喫茶店まで足を運んで頂き、本当にありがとうございました。

突撃インタビュー！！

入居者の皆様のおしゃれのお手伝いをして下さっている『r-c r e a』の美容師野口恵さんにくぬぎの木について聞いてみました。

☆くぬぎの木ってどんなところ？☆

皆さんの笑顔が素敵です！！アットホームで入居者さんとスタッフの信頼関係を深く感じ、家族のような温かい雰囲気の中でヘアカットをさせていただきます。たまにおやつまで御一緒させて頂き、楽しい時間を過ごさせてもらっています。私にとっても居心地が良い場所です。



☆心がけていることは？☆

一人ひとりの入居者さんのことを少しでも知りたいので、いろいろなお話をさせてもらっています。心に残って頂きたいので何度も同じ話をしたりもします♪髪の長さもただ短くサッパリさせてもらうのではなく、その方に似合うようなスタイルを考え、一緒に鏡を見ながら少しずつ進めています。また、寝ぐせがひどくならないお手入れしやすいカットを心がけています。私がさせて頂くカットの時間が、入居者さんにとって楽しく心地よい時間と感じて頂けるように努めます！！

皆さん素敵に変身しましょう♡♡♡

お世話になった皆様

(H25年9月～H26年2月)

コーラス	マリアの丘様
絵手紙	中村 礼子様
ピアノ演奏	井上 裕美様
POLA 化粧品	代表 浜條 美和様
清掃・除草	県地区長寿会様
花の苗植え	池田 信愛様



新職員紹介

調理員 やまもと えみこ
山本 恵美子



よろしくお願いします！

竹谷 1 丁目 かとう あかり
加藤 朱里



★祝100歳記念 特別インタビュー

今月2日に100歳のお誕生日を迎えられた、竹谷3丁目のご入居者とご家族に突撃！
ご入居者が生まれた大正3（1914）年は、世界史でみると第一次世界大戦が開戦された年でもあります。戦時下で子育ての傍ら、商売をし大正・昭和・平成という三時代を生き抜かれた貴重なお話しを一部ではありますが、紹介させて頂きたいと思います。



「私は17でお父さんと結婚したの。それから商売、商売…働いてばっかで若い時なんか遊んでる暇なんてなかったよ。」とご主人との馴れ初めを伺いました。

福井から大阪へ引越し、商売をしてお子さんを4人育てられたそうです。また、大阪大空襲の時にはお子さんを抱きかかえ、降りかかる火の中を駆け抜けたという今では信じられないような話も…。

三重へ越してこられたのは今から約20年前。80歳を目前にして新生活が始まりました。「なーんにも知らんとこやったけど、娘がようしてくれるで良かった。本当に、娘がおらんかったらどうしようもなかったもんね」とご入居者の口から出てくる言葉は、いつも娘さんへの感謝の言葉です。

今年のお正月には娘さんから曾孫さんまで勢ぞろいし、100歳の前祝をしました。皆さんの祝福の言葉に感極まる場面も。曾孫さんから「おおばあの夢は？やりたいことは？」との質問が…。すると「ない！もう全部した」とご入居者。「本当に皆さんのおかげ、ありがとう！」と何度も何度も感謝の言葉を述べられました。

ご入居者の100年という長い人生の一部に、私たちが一緒に過ごさせて頂いていると思うと感慨深いものがあります。

ご入居者ならびにご家族の皆様、これからも長ーいお付き合い宜しくお願い致します。



デイサービス

せせらぎ

～おもてなし忘年会～



ご利用者と一緒に食事やゲーム・寸劇・カラオケを楽しみました。

さくら

～おやつ作り～



毎月2回、おやつ作りをしています。12月にはクリスマスケーキを作りました。満面の笑みを浮かべて召し上がってみえました。

Winter

施設長のつぶやき ～第2回～

『おとそ』

1月1日。くぬぎの木特養の2回目のお正月を迎えました。

朝、おとそをもってご入居者お一人おひとりに新年の挨拶回りをしました。

ご入居者のみなさんの「おだやかな」表情と礼儀正しい挨拶、みごとな呑みっぷり

（？）を拝見して、とてもうれしく感じるとともに、改めて身の引き締まる思いがしました。支援するスタッフにもおとそを振舞いました。関心したのは「おだやかさ」。

どのスタッフも忙しさを全く見せず、ユニットにあたたかい雰囲気が出ていました。ありがとう！ ※年末には

ご家族にお部屋の掃除を手伝っていただきました。ありがとうございました。◎



くぬぎの木 **アメブロ** 始めました！！

アメブロ

くぬぎの木

～くらしをつなぐ、
いっしょに過ごす～



<http://ameblo.jp/ag-kunuginoki/>



くぬぎの木の暮らしを
ご覧ください



URL <http://www.kunuginoki.jp>

特別養護老人ホーム

〒512-1204 四日市市赤水町 1245-7

TEL : 059-327-2826 FAX : 059-327-1177